

事務事業評価表

○基礎情報

課名		社会教育課(南湖公民館)	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	5	自分を見つめ、地域を見つめる社会教育と文化財保護を推進する	佐藤 勇	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				1 人	1 人	1 人	3 人	4 人	90 時間	7.5 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	3次実施計画の 現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			26年度	27年度	28年度	29年度
社会教育主催事業・イベントの参加者数	46,223人	49,000人	47,107人	48,593人	48,282人	42,918人
0	0.0%	0				
0	0.0%	0				

(評価の見方)

- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ Z 未着手事業(中核市関連のものを含む)
- ・ 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実績のないものを含む)

2 事業実績(平成29年度)

No.	事務事業名 (第3次実施計画)	事務事業の目的・目指すべき成果・効果	Plan / Do									総合評価 (Check)			Action		
		何を・誰を (対象)	どうやって働िका け(手段・方法)	どうしたいか(生ま れる成果・効果)	事業 性質	従事 者数	会計 区分	H28予算(円) H28決算(円)	H29予算(円) H29決算(円)	事務事業の指標名	H29目標値	H29実績値	評価	取組 時間	見直し検 討可能性	業棚 選定	休・ 廃止
1	家庭教育支援関連 事業	市民の学習活動の活性化を図り、家庭教育 支援を推進する。	定例 定型	0.48	一般		403,000 347,200	358,000 349,000	実施事業数	5事業	7事業(参加 1,032 人)	S	増加				
2	子ども事業	公民館で活動するサークルや団体、ボラン ティアの協力を得ながら、子どもや親子を対 象に体験学習を実施し、地域のふれあいや 仲間作りを促進する。	定例 定型	0.56	一般		202,000 142,000	222,000 189,000	開催事業数(年間)	8事業	17事業(参加 379 人)	S	増加				
3	社会的要請課題を テーマとした事業	様々な現代社会における課題の解消に向け て、学習の場を提供し、学習活動の活性化 を図る。	定例 定型	0.37	一般		120,000 110,300	122,000 121,100	開催事業数	8事業	11事業(参加 379 人)	S	増加				
4	学習情報の提供	講座等の公民館事業など、地域や学習者の ニーズに応じた情報の提供を行う。	定例 定型	0.33	一般		0 0	0 0	情報誌の発行回数(年 間)	6回	6回	S	変動 なし				
5	学習成果の還元事 業	学習成果を生かす機会や、発表と交流の場 を提供する。	定例 定型	0.52	一般		220,000 205,700	220,000 180,000	事業数	5事業	4事業(参加 4,354 人)	S	変動 なし				
6	公民館ふれあい事 業	学習の機会を提供し、参加しやすい事業を 通して市民の学習活動の活性化とコミュニ ケーションを図り、仲間作りやサークル化を 目指す。	定例 定型	0.60	一般		250,000 219,900	297,000 296,500	開催事業数(年間)	11事業	15事業(参加 822 人)	S	変動 なし				

7	次世代育成ネットワーク事業	地域の教育機関や団体と連携し、次世代の育成を図る。	定例 定型	0.14	一般	0 0	0 0	開催事業数	2回	2回	S	変動 なし			
8	地域交流事業	地域交流の場を提供し、文化の伝承と地域交流、ふれあいの場を提供する。	定例 定型	0.37	一般	150,000 110,000	150,000 115,000	開催事業数	3回	4回(参加 893人)	S	変動 なし			
9	公民館運営審議会	各種事業の企画・実施について調査・審議を行う。	定例 定型	0.10	一般	266,000 220,380	265,000 249,810	運営審議会の開催回数 (定例会)	4回	4回	S	変動 なし			
10	公民館利用者活動支援事業	社会教育施設である公民館を運営するための業務管理を行う。	定例 定型	1.79	一般	8,165,000 7,636,745	8,159,000 8,135,007	利用件数(年間)	3,000件	2,916件 (利用者 34,274人)	S	変動 なし			
11	施設維持管理	公民館施設の維持管理を行う。	定例 定型	0.32	一般	2,629,000 2,167,803	1,976,000 1,876,700	開館日数(年間)	306日	306日	S	変動 なし			
12	施設保守点検	施設設備の保守点検を委託する。	定例 定型	0.27	一般	445,000 444,096	445,000 444,096	保守点検実施回数	1～4回	11回(他館分含む)	S	変動 なし			
13	災害応急対策活動	-	定例 定型	0.14	一般	0 0	0 0								
14	庁内共通業務	-	定例 定型	0.14	一般	0 0	0 0								
合計				6.13		H29総予算(円) H29総決算(円)	12,214,000 11,956,233								

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)	
<p>< 5公民館の取り組みと成果 ></p> <p>平成29年度は「公民館フェスタ～茅ヶ崎市の公民館活動を見てみよう・体験してみよう！！」として、11月3日の「市民ふれあいまつり」に合わせ、イオン茅ヶ崎中央店1階正面入り口フロアにて、本市の公民館活動を周知する展示や、日頃各公民館で開催している主催事業をワークショップ形式で行い、参加する楽しさを気軽に体験してもらう機会を創出した。また、ホノルルウィーク展、環境展、食育展などの館内展示や、企画経営課長寿社会推進担当との共催事業(フレイルチェック)の実施など、他課との連携事業も行い、成果を挙げたと考える。また、インターンシップ生を受け入れ、公民館事業に携わってもらいながら、若者の視点から公民館のPR手法等について考えてもらうきっかけづくりとした。今後においても、他課との連携や公民館の対外的なPRを引き続き行っていきたい。</p> <p>< 南湖公民館の取り組みと成果 ></p> <p>南湖公民館の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通業務」を除き12事業である。これらの指標の達成度及び事業の実施効果については、「S」が12事業となっている。指標の達成状況では、すべての事業において80%以上を達成しており、目標値以上に実績のあった事業が5事業あった。</p> <p>このような中で、地域における社会教育施設としての公民館の役割を再認識する意味でも、平成29年度は「地域を学ぶ会」と題して、地域資源を活用した事業を中学校と連携しながら行った。この学習会は、会場を双方で交互に実施したり、参加者の募集を両者で行ったりしながら、平成30年度も継続して実施をしている。今後においても、南湖公民館の立地特性を活かして、学校教育と社会教育の有機的な連携を進めていきたい。また、コミュニティセンターなど学校以外の施設との連携についても、事業の案内を直接持参したり、備品の貸し借りをを行うなど、まずは「顔の見える関係」を構築することに心がけた。平成30年度においては、コミュニティセンター湘南、ハマミナまなびプラザで行う事業を予定している。今後においても、地域の社会教育施設として、地域の学習ニーズに応え、地域社会の形成に寄与する役割を担っていきたい。</p> <p>時間外勤務については、総時間数で90時間、一人当たりで月平均7.5時間となっており、前年度の総時間191時間、一人当たり月平均15.9時間と比べ大幅に減となった。管理職以外に常勤職員が一人という公民館の特性から、主に庁内業務(文書事務や各種説明会などへの出席に係る部分等)に費やす割合が多いと感じられるところであるが、引き続き事務の効率化及び館内の協力体制により、時間外勤務は極力行わないように努める</p>	

4 見直し検討可能性にチェックの入った事業のうち休・廃止検討事業

No.	事務事業名	休・廃止検討の理由
-	-	-
-	-	-

5 働かたの見直しにおける取組結果(28-29年度の2か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

No.	事務事業名	取り組みの結果
11	施設維持管理	公民館の管理に係る業務委託等の契約手続きの見直しを行った。公民館で共通する業務の契約並びに期間の見直しを行い、経費削減と契約等に係る職員の事務の効率化を図った。(清掃業務委託の長期継続契約化、警備委託の長期継続契約化、複写機の賃貸借契約の統合)
-	-	-